

令和 5 年度 下田市学校教育の基本方針

教育の理念

下田に誇りをもち、未来を切り拓く志をもった人

教育目標

未来に向かってたくましく、しなやかに生きる子を育む**I 下田市の教育の基本方針**

下田市は、海や山など美しい自然に囲まれ、開国のまちとして歴史や文化に彩られた魅力あふれるまちです。また、多くの子供達がアンケートの中で、下田市のよいところは人の温かさだと答えるなど、人が優しく温かいまちでもあります。このような温かな環境の中で子供達は成長し、育まれています。

下田市教育委員会では、私たち一人一人が「下田に誇りをもち、未来を切り拓く志をもった人」になることを大きな理念とし、その実現に向け自分に合った具体的な目標や方法を模索していくことを教育の理念に含めました。学校教育では、下田の自然、歴史、文化など豊かな資源を活かした教育活動を展開し、未来に向かってたくましく、しなやかに生きていく子供達を育てていきたいと考えています。

II 現状と課題

子供達を取り巻く環境は、少子高齢化、人口減少社会、環境問題、大規模災害など、急速な社会の変化に加え、従来の思考や方法が通用しない予測困難な時代を迎えています。

そうした中、子供達には、様々な困難に立ち向かい未来を切り拓いていく強さやたくましさを身につけることが必要だと考えました。

また、コロナ禍により、当たり前に行ってきたことを根底から覆され、その意味や価値を見直し取組を再構築する経験をしました。そうした未曾有の事態においては、変化を前向きに受け止めしなやかに対応していく力が必要であると考えました。

III 教育目標を実現するための5つの取組

この教育目標を実現するための、5つの取組とそれを実現するための基盤整備に関する手立てを考えました。

取組 1

・ 下田を感じる、味わう、好きになる取組

自然、歴史、文化をフィールドとした体験を通して豊かな感性を育み、表現力を磨きます

○下田の豊かな自然（海、山、川、ジオ）を体験する活動を通して学びます

- 手立て**
- ・ 体験プログラム事業を活用した体験学習の実施
 - ・ 総合的な学習の時間を活用した下田の魅力を知る授業の展開

○下田の豊かな資源（文化、歴史、伝統）の探求を通して学びます

- 手立て**
- ・ 総合的な学習や地域を知る学習（社会科）を通して歴史や文化を学ぶ活動の展開
 - ・ 学校給食で地場産品を使用したふるさと給食週間や地産地消週間の実施

○開国のまちなちの特色を生かした取組を通して、豊かな国際感覚を身に付けます

- 手立て**
- ・ 外部人材を活用した国際教育の展開
 - ・ 黒船祭への参加等、外国の文化に興味をもち、多様な見方や国際感覚を育む活動の実施
 - ・ ALT の全校配置や英検受検全額補助等、英語力の向上のための支援
 - ・ 下田グローバルCITYプロジェクトに基づく、国際的な視野と地域への愛着の両面を養う取組の推進

- 関連予算
- 体験プログラム事業補助金 4,000 千円
 - 総合学習 講師謝礼 115 千円(小) 80 千円(中)
 - ふるさと応援基金 賄材料費（ふるさと応援分）4,000 千円
 - 外国語指導助手謝礼 6,500 千円
 - 英語検定受検推進補助金 1,326 千円
 - 英語力向上プロジェクト事業補助金 1,500 千円
 - 備品購入（マイクスピーカーシステム等）183 千円

取組 2

・ 未来について思考する取組

自分の将来や地域の未来について思考する素地を養います

○未来の姿を思い描き、自分の生き方や下田の未来について考え、アクションを起こします

- 手立て**
- ・ 総合的な学習の時間を活用した自分の生き方について思考する授業の展開
 - ・ 高校とも連携した探究的な活動の試行等、未来の可能性を広げる事業の展開

○下田内外の職場や働く人の生き方から学びます

- 手立て**
- ・ 職場体験、保育実習、福祉体験活動等、体験活動を活用したキャリア教育の展開
 - ・ 下田内外で活躍する人材や資源を生かしたキャリア教育の推進
 - ・ 幼保こ・小・中・高が連携した職場体験の実施

- 関連予算
- 未来の下田創造プロジェクト会議 講師謝礼 80 千円 会議参加者謝礼 80 千円
 - 総合学習 講師謝礼 115 千円(小) 80 千円(中)

取組 3

・居場所づくりに向けた取組

安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます

○自分の居場所である（がある）と感じられる学校・地域を目指します

- 手立て**
- ・温かな人間関係・豊かな集団生活が育まれる学級・学校の環境づくり
 - ・一人一人に応じた支援の充実のための支援員の配置
 - ・人間関係づくりプログラム等、人とかかわり方を学ぶ授業の実施
 - ・地域ぐるみで児童・生徒を支えるコミュニティ・スクールの設置（R5 下田中導入、R6 以降小学校へ）に向けた取組
 - ・放課後児童クラブの拡充

○命を守り、安全かつ安心して生活できる環境づくりを目指します

- 手立て**
- ・積極的な情報発信、学校公開等の実施
 - ・不登校児童等対策連絡協議会・いじめ問題対策連絡協議会等各種機関との連携
 - ・SC や SSW を活用した、個別対応の充実と外部機関との連携強化
 - ・臨床心理士による巡回相談、発達検査の実施

○防災教育を通して、命を守るために自ら考え、人のためにも行動できる人を目指します

- 手立て**
- ・安全安心の意識を高め、自分の命を守る防災・防犯教育の実施
 - ・幼保こ・小・中・高と地域がともにつくり上げる防災教育の実施

○関連予算 支援員報酬等 40,736 千円

下田市学校運営協議会 委員報酬 120 千円

放課後児童対策事業 36,358 千円

下田市いじめ問題対策連絡協議会 委員報酬 56 千円

下田市いじめ問題専門委員会 委員報酬 42 千円

巡回相談員謝礼等 569 千円

子どもの体験型防災講座参加者負担金 20 千円

取組 4

・資質・能力を育成する取組

自分や地域の未来を切り拓くことができる資質・能力を伸ばします

○実際の社会や生活で生きて働く知識や技能を身に付けます

- 手立て**
- ・魅力ある授業を目指した、園・校外における教職員研修の充実
 - ・体験的な学習の推進、地域の資源を活用した授業の展開

○未知の状況にも対応できる、思考力、判断力、表現力などを身に付けます

- 手立て**
- ・思考力や判断力、表現力を育成する ICT 教育の実施
 - ・児童・生徒会活動等、自治的な力をつける活動の実施
 - ・授業力向上に向けた下田市教育研究発表会の開催及び研修推進のための支援

○学んだことを人生や社会に生かそうとする力を身に付けます

- 手立て**
- ・地域の人や資源を生かした総合的な学習の実施
 - ・環境問題について学び、自分のできることを考え実行する授業の展開

- 関連予算 体験プログラム事業補助金 4,000 千円 【再掲】
- 総合学習 講師謝礼 115 千円(小) 80 千円(中) 【再掲】
- 授業支援ソフト使用料 1,221 千円
- ZOOM ライセンス使用料 36 千円
- パソコンネットワーク保守業務委託 3,274 千円(小) 3,972 千円(中)
- GIGA スクールサポーター配置促進業務委託 3,274 千円(小) 1,872 千円(中)
- 小学校教育用パソコンリース料 9,214 千円

取組 5 ・ 健やかな心身を育成する取組

生涯を通じて充実した人生を送るために、健やかな心身と豊かな感性を育みます

○健やかな心身を支える健康な体づくりを目指します

- 手立て** ・ 園児・小中学校児童生徒対外派遣事業費補助金の活用
 - ・ 栄養教諭における給食時間の指導や授業や地域の食材を活用した給食の提供
 - ・ 児童・生徒適応指導事業、特別支援教育体制推進事業

○道徳教育や読書活動の充実を図り豊かな心の育成を目指します。

- 手立て** ・ 園児・児童・生徒の感性を磨き豊かな心を育てる読み聞かせ等の読書活動の充実
 - ・ 学校司書の配置（2名）、計画的な新刊図書購入、学校図書館システムの全校活用
 - ・ 道徳教育の充実を図り豊かな心の育成を目指す授業づくり研修の実施

- 関連予算 小中学校児童生徒対外派遣事業費補助金 3,250 千円
- 学校給食管理運営事業 167,385 千円
- 児童・生徒適応指導事業 4,435 千円
- 特別支援教育体制推進事業 41,305 千円
- 学校司書（2名）報酬・期末手当等 4,702 千円
- 図書購入費 1,407 千円(小) 700 千円(中)
- 学校図書館管理システム使用料 616 千円(小) 143 千円(中)

基盤整備 ・ 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組

以上、5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組みます

○人材育成に向けた学びの機会や質を保障する教育予算の拡充

- 手立て** ・ 教職員の研修費の拡充
 - ・ 多様な学びの機会を創出するための外部人材活用の為の予算の拡充

○少子化・人口減少社会と新しい時代に対応した魅力的な学校づくり

- 手立て** ・ 新中学校や7小学校の魅力化に向けた調査・研究
 - ・ 大学や他機関と連携した学校の魅力化
 - ・ 地域と共にあるこれからの学校の魅力化を構想する場の設置

○ICT、ネット環境に関する基盤整備

- 手立て** ・ GIGA スクール構想に基づく、ICT 機器の計画的整備
・ 一人一台端末の効果的な活用に向けた研修の充実
・ 校務支援システムのさらなる活用のための改善

○子どもの安心安全の確保と、多様なニーズに対応するセーフティーネットの構築

- 手立て** ・ 子育て世代・ひとり親家庭への支援体制の構築
・ 地域見守り隊の活用
・ 通学路の安全確保に向けた取組の推進（子供の移動経路・安全推進会議）

○生涯にわたって学び続けることができる施設・環境の整備

- 手立て** ・ 小学校管理事業、中学校管理事業
・ 就学援助事業(要保護・準要保護)、教育資金利子補給事業、就学奨励交付金事業

- 関連予算** 体験プログラム事業補助金 4,000 千円 【再掲】
総合学習 講師謝礼 115 千円(小) 80 千円(中) 【再掲】
未来の下田創造プロジェクト会議 講師謝礼 80 千円 会議参加者謝礼 80 千円
【再掲】
小学校在り方検討協議会 講師謝礼 40 千円 会議出席者謝礼 192 千円
下田市学校運営協議会 委員報酬 120 千円
賀茂地区校務事務共同化事業負担金 1,656 千円
児童援護事業(準要保護就学援助費 1,690 千円 特別支援教育就学奨励費 718 千円)
生徒援護事業(準要保護就学援助費 2,396 千円 特別支援教育就学奨励費 1,127 千円)
教育資金利子補給事業 464 千円
就学奨励交付金事業 1,000 千円